

## 第7回島田市審議会 会議要録

### 1 日時

平成29年7月12日(水) 19:00～

### 2 場所

島田市役所 4F 第三委員会室(南・北)

### 3 出席者

委員：秋田委員、朝比奈委員、石川委員、石間委員、小倉委員、後藤委員、佐久間委員、白瀧委員、杉本委員、鈴木委員、園部委員、谷委員、森委員

事務局：鈴木市長戦略部長、田中戦略推進課長、駒形課長補佐、永野、今村、小野地方創生担当係長、太田原、大和田

ランドブレイン株式会社 植野

傍聴者 1名

### 4 内容

(資料確認)

・事務局より(次第、事前配付資料1、2-①、2-②)

(会長あいさつ)

- ・暑い中お集まりいただき感謝する。いくつか選挙も終わり、静岡県内も大分落ち着いてきたのかと感じている。
- ・事前配付資料の基本計画原案を拝見し、だいぶ中身も充実してきたと思う。そこで、今回も皆さんからの御意見・御質問も多々あるかと思われる。本日も遠慮なく、御発言いただきたい。

(報告)

(1) 第2次島田市総合計画等策定に係るタウンミーティングの開催について

資料1に基づき、事務局より説明

【質疑応答】

会長：何か御意見・御質問があればお願いしたい。

今回の予想として、定員は埋まるのかどうか。地区によって差が出たりするのか。

事務局：これは4年前にも実施しているもので、参加状況については現計画のP239に掲載がある。前回、第1回目は川根地区で開催しているが、定員50名のところ、79名の参加が

あり、盛況だったと記憶している。他の会場もほぼ定員近く、あるいは定員超えの会場もあった。

会 長：今回も是非、盛況なタウンミーティングになればと思う。本日お集りの各委員の参加も期待したい。では次の議題をお願いする。

(2) 第6回総合計画審議会後の変更点について

資料2-①に基づき、事務局より説明

【質疑応答】

会 長：変更点について何か御質問等、如何か。よろしいか。無ければ次の議題に移りたい。

(議題)

(1) 基本構想・前期基本計画原案について(基本計画 全体構成・原案について)

資料2-①、2-②に基づき、事務局より説明

【質疑応答】

会 長：この原案についての審議が本日最も重要となる。

御意見、御質問があればお願いしたい。

今、配付のあった「意見シート」はデータ等でも提供可能なのだろうか。

事務局：御要望があれば対応させていただく。

会 長：それでは、かなり長い内容なので、全てを、今この場でお目通し頂くのは難しいと思われるため、お気づきの点があればお願いしたい。

副会長：まず、資料のボリュームが多く、全て熟読するのは中々厳しい。一方、A3版のまとめ資料は、やはり見て分かりやすい。

しかし、全体像として柱だけでも100あって、その下のレベルも含めると400~500項目掲載されている。まだ途中ということで、指標もどのレベルで付くのか見えていない。あまりに内容が多く、どうしたらいいのかと考えてしまう。

事務局：基本計画原案自体は、事務局として最大限書き入れた状況となっている。今後、これをどうスリム化していくか。現在並行して、事務局で目標指標「めざそう値」の検討を進めているが、あくまでも事務局案であり、今後、皆様から御意見等出てくるようであれば、そういった事も参考にしながら、指標の設定作業を進めていきたいと考えている。次回の総合計画審議会では、目標指標の案まで入れて提示したい。

副会長：例えば、政策分野3、地域経済を力強くリードするまちづくりの中で、島田市緑茶化計画を強調するというように、こちらから小さな柱の変更をお願いすることは可能か。

事務局：是非御意見をお願いしたいと考えている。なお、各政策の「施策の柱」については、これまで皆様と議論を積み重ねてきた結果であり、今後、文言等の調整はあっても大筋の変更はないものとする。

A 委員：資料にあるように、「子ども」、「子供」の表記の違いに何か理由はあるのか。

事務局：教育の法律関係では「子供」、子育て支援等の関係は「子ども」と使い分けをしている。

A 委員：最近、子「供」の表記は使わないようになってきているようだが。

事務局：「島田の教育」（教育委員会）の方では、「子供」で統一されている部分なので、御了解いただきたい。

会長：「障害」と「障がい」なども、どちらで表記するか、時代背景により議論がなされる状況がある。教育関係については「子供」の表記で統一という理解でいいだろう。

B 委員：資料2-②、P76、「UIJターン」、「クラウドソーシング」など、用語解説の必要があると思われる。タウンミーティングでも、そのような点で注意が必要ではないか。

事務局：今後完成させていく「総合計画」には用語解説を付すとともに、本文も出来るだけ分かりやすい言葉に配慮していきたい。

事務局：今の御意見は大変重要な御指摘。注釈の必要がありそうな内容については、以後も御指摘いただきたい。

会長：注釈を入れる場合について、これまで多くあるように、本書下の欄外に入れると、文字が小さくなってしまい、かつ目の移動が煩わしく見辛いため、本文中に括弧して入れるのが主流になりつつある。出来ればその方がいいのでは、と思う。

C 委員：資料2-②、P83の下から5行目、「付加価値化」という表記について、本来的に、「価値」は付いてくるものであろう。例えば、自分は「付加価値」のある物を作っているつもりでも、周りから評価されなければ「価値」のないものになってしまい、余計な経費ばかりが掛かって、投資の回収が難しくなってしまうこともあり得る。「付加価値」という言葉の使い方は慎重にすべきだと思う。

事務局：基本計画原案の本文は、並行して庁内でもチェック予定である。今の御意見もあわせて担当部局に照会したい。

会 長：非常に深い御指摘だったと思う。他に何か。無ければ私から少々。先の「数値目標」について、全て付けるとなると大変な作業になると思われる。数値化出来ない項目もあるだろう。（小柱レベルに全て指標を付けるのは難しいのではないか）出来るだけやっていただきたいが、「無理して」指標を付けることはない。

事 務 局：資料２－①の右端欄に書き出している「重点プロジェクト」の内容について、現時点、で、何か分からない表現が無いかどうか伺いたい。

会 長：「子育てコンシェルジュ」などは如何か。「シティプロモーション」くらいなら大分一般的になってきたと思うが。

C 委 員：「ぼんやり」とは理解できるが、全てに細かい説明があったとしても、きちんとした理解には限界があるだろう。例えば「居場所づくりの推進」。高齢者の方々が集まる場所の様な事と想像できるが、このくらいの表記で具体的なレベルを理解するのは無理なこと。なお、事業名の記載だけでなく、事業の実施効果・波及効果、ひいては財政効率化の内容まで示して頂けるなら一番良いことだと思う。

事 務 局：基本計画原案の記載（重点プロジェクト）はぼんやりした名称のところもあるが、今回、市民に手にとってもらいやすい計画として「スリム化」するよう、市長の意向としても出ているので、どんなレベルでバランスさせるといいのか、今後とも検討させていただきたい。

会 長：「重点プロジェクト」とするなら、最終的に、もう少し内容が分かるようにはすべきだろう。

D 委 員：資料２－①、政策分野４の「クリーンセンター」、政策分野６の「都市計画マスタープラン」、政策分野１の「健幸マイレージ」、あと前に戻って、目標人口の所、「まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」の内容は分からない。計画冊子があるものは鍵括弧でくくった方が良い。

事 務 局：「クリーンセンター」は所謂、し尿処理施設のことで、平成 30、31 年度に施設の大幅更新を予定している。「都市計画マスタープラン」は、平成 21 年度に、20 年後を目途として策定した計画で、平成 31 年度に 10 年目を迎える（計画期間の折返）ため、新たにコンパクトシティ化に向けた内容を加えるなど見直しを図っている。また、市内各地区の、まちづくりの方向性なども記載している。「健幸マイレージ」は、各個人で健康づくりの目標を定めてもらい、その達成に向けて支援（ポイントの付与）する制度。付与されたポイントで、多様な商品等に交換可能としている。

D 委 員：今の御説明を受けてやっとの理解であるが、やはり一般に馴染みない用語は、本文中

に解説を記載することで分かりやすくなるものがあるだろう。

事務局：種々の説明を丁寧にする必要性も再認識するが、やはり「スリム」な計画書とするなか、どうバランスをとるかを考えていく必要がある。

会長：他に何か御質問は。

副会長：どう申しあげればよいのか分からないが、市民に分かりやすくするための情報まで載せていくと、原案を遥かに超過し 200 ページは超えていくことになるだろう。この総合計画の下に、種々分野別の計画があって、それらともリンクして作られるとすると、A3版（資料2-①）があれば全体像はイメージできる。後は用語説明があれば、A3版の資料だけでも済むのではないかと思ったりする。一方、計画の目標人口として 92,000 人確保もある。どのような取組が市人口の維持に結び付くのか、若い方がどこを見て（島田に）やって来てくれるのか、お年寄りが、どれを見て島田の病院に来てくれるのか、人口を増やすための計画を中心に、あとは個別的な計画を説明すれば、コンパクト化できるのではないか。

会長：例えばダイジェスト版と本冊子と分けて作る等もあるだろう。他にあるか。

E 委員：政策分野2、子育て教育が充実するまちづくり、生涯スポーツを楽しむ人を増やすという所で、資料2-②でも確認したが、子育て・教育の所に位置付けられているので、是非教育的な意味として、スポーツを通じた人づくり、のような視点・文章を入れて頂けると、子育て・教育のカテゴリーにある意味も深くなるのではないか。また、指導者の育成も課題になってきている。子供達がスポーツを通じて、何を学ぶか、何を身に付けていくかという事が、いずれ指導者が育つ環境にもなると思う。あと、重点プロジェクトにある「教育支援員」とは何を支援するものか。

事務局：「教育支援員」は島田市で雇用し、各校へ配置する支援員。図書館支援員、スクールソーシャルワーカーなどを指している。

B 委員：現計画の反省（評価）といった内容はどうなっているのか。

事務局：現在の総合計画の計画期間が平成 29 年度末までなので（計画期間中）、今の段階から現計画の実績、成果を調査し、今後それを踏まえた内容を加えていく予定。なお、現計画の P49 に、「前期計画の評価と後期計画への政策の位置づけ」という内容で、数値ではないが文章で表現されている。今度の計画は「第 1 次総合計画」が終了となり、全く新しいものに入れ替わることになる。一方、第 1 次総合計画の実績をふまえ、その内容がどう第 2 次計画に繋がっていくのか、そういった事も表現する必要があると考えている。

B 委員：資料2-②のP124、PDCAサイクルと書く以上は、その実行のもと、きちんと計画の進行管理を進めるべき。

会 長：各年度が終わる前には、ある程度の進捗状況のチェックが出来るので、それらを真摯に振り返り、細かい数字はいらないが、総括的な文章を前書きなどに入れて計画を作るといい、という御意見かと思う。先ほど事務局が言った通り、そうするつもりだという事なので、是非お願いしたい。

F 委員：資料2-①の左欄に記載の「基本理念」であるが、平成21年度発行の第1次総合計画と全く同じで、皆さんがそのままいいというのであれば宜しいが、どういう経緯であったのか、審議した記憶がない。表現としてどこでも通用するし、もっと島田らしさが必要だと思う。

政策分野1～7まで全体を通して、若い女性、若者の声を拾う姿勢に欠けていると感じた。P68～69 辺りに出ては来るが、上からの目線であり（青少年を育てますという表現）、青少年たちが自ら自分達の意見を、行政に取り入れてもらう機会、例えば静岡市、藤枝市、焼津市などでは、「若者会議」というものを始めている。愛知県新城市では、若者が長久手市にある大学に行ってしまうので、それを食い止めるために「若者議会」を作って声を吸い上げ、新城市から無料の通学バスを出し、新城市に定住する支援をしている。島田市でも若い人達の「声」があるはず。若い世代の意見、声、意思が抜け落ちているように感じる。

P125に「・・・市の職員の人材育成を推進します」とあるが、ここでも「若い職員の意見を吸い上げます」のような、そういう仕組みが足りないと感じる。是非追加して頂けたらと思う。

会 長：これも重要な視点ではないか。今後、細かい点は検討頂くとして、今この場で何か、事務局からは。

事務局：基本理念については、昨年、第2回審議会で、事務局から説明させて頂いたと思われる。この基本理念は、島田・金谷・川根の合併時に、新市の進む方向として当時定められたもので、代々首長が変わっていても、この基本理念は変わるものではないと認識し、現市長の考えもあり、第1次総合計画から変更しないものとさせて頂いている。我々の説明不足の反省もあるが、改めて、この基本理念は前計画を引き継ぐものとしたい。

若者、子供達からの視点については、出来るだけ表現できるような形を検討していきたい。御意見いただき感謝する。

F 委員：若者・子供達からの視点については、文言で表現していきたいという事だが、私が言いたいのは、文言の書き方ではなく、そのような「機会」の必要性なので、具体的な施

策・支援をお願いしたい。

会 長：それでは予定時間を超えてきたので、本日の審議はこの辺りで終了とさせていただきます。更に御意見があれば、本日配付の「意見シート」にて事務局迄願います。皆さんの意見を基に、より良いもの、具体性を持ったもの、かつ分かりやすいものにして頂けたらと思う。引き続きよろしく願います。

事 務 局：B委員からの現計画の評価に関する御意見について。具体的には、毎年度、事業等の進捗状況はチェックされており、現在平成28年度の状況をチェックしている。これは市議会にも報告する内容となっている。なお、数値までは掲載できないが、文章にて「・・・ここまで達成できて、恐らくこういう形になって行く、なのでこうして行く・・・」というような表現として、新しい計画書にも掲載していくことになるだろう。

(その他)

・次回審議会開催について（9月上旬の開催予定）

以上

20:30会議終了